2020年６月８日

各　位

会社名　　ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO　小野 有理
（コード番号 6699　東証第一部）
問合せ先　　常務執行役員 CFO　徳原 英真
（TEL　06-6302-8211）

2020年３月期の連結業績予想と実績値との差異
並びに営業外費用、特別損失及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

2020年２月14日に公表いたしました2020年３月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、営業外費用、特別損失及び法人税等調整額の計上について、併せてお知らせいたします。

記

１．2020年３月期の連結業績予想値と実績値との差異（2019年４月１日～2020年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 73,000	百万円 200	百万円 0	百万円 △1,350	円 銭 △258.80
実　績　値（B）	71,012	511	143	△1,776	△340.43
増　減　額（B－A）	△1,987	311	143	△426	
増　減　率（%）	△2.7	155.9	－	－	

２．差異の理由

売上については、自動車機器事業における海外市場、電子機器事業における国内市場にてともに販売が低迷したことにより予想数値を下回りました。一方、営業利益においては、売上は落ち込んだものの、より一層の経費節減等の諸施策に取り組んだ結果、予想数値を上回りました。また、経常利益においては、為替相場の変動の影響により為替差損を２億64百万円計上したものの、予想数値を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益については、法人税等調整額（益）を１億79百万円計上した一方、国内子会社において米国企業への貸付金に対する貸倒引当金繰入額を２億19百万円計上したこと並びに中国子会社において電子機器事業での品質問題を起因として製品補償損失を２億57百万円（通期で５億18百万円）計上したこと及び事業構造改革費用を追加で１億94百万円（通期で４億22百万円）計上した影響により予想数値を下回りました。

以　上